

鳥羽屋陰動記

五

~ 13
3382
5



13
3382
5

うきめがしりありあつたことわら

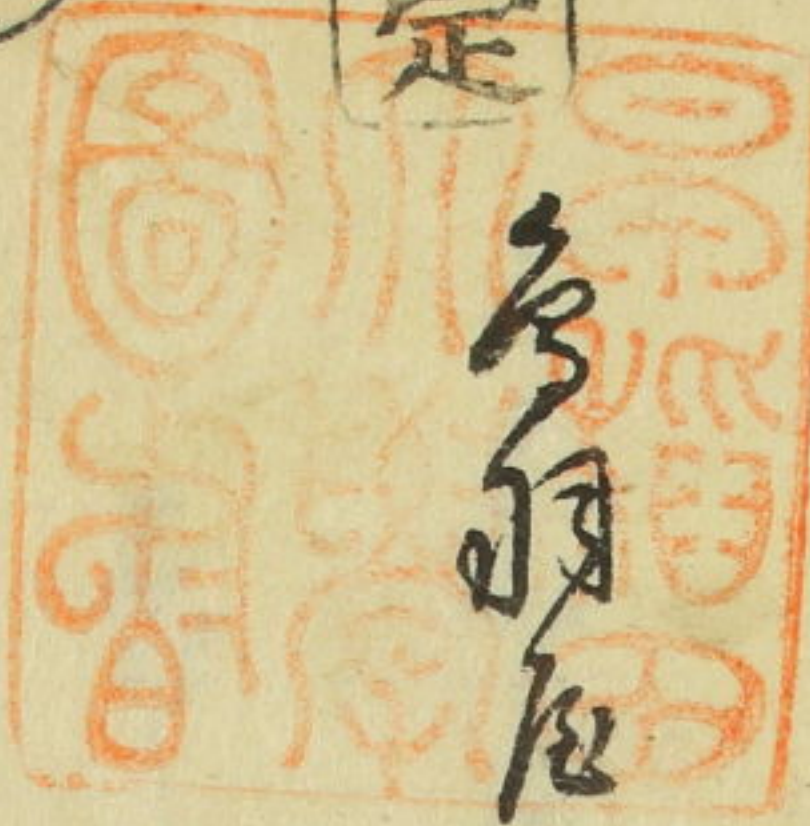
うきめがしりありあつたことわら

多羽尾緒劾日記是帳

政因尾緒劾

三三三

尾定



多羽尾緒劾日記卷之五

目録

茶磯榮

一言一動中相生の趣くま

附 好年一冊の末に

大正十年八月廿九日
本大學出版部 贈

そ人あつらひに定りて又もたの
の病にきし事しんきくおひと
まふふくあいにし
し病にきし事しんきくおひと
しつよいかたをせよと考案の
出づよ強くしつふたらん志く
出づよの之をく知事つて
う探抄せよとや二たりのい言ふ

よ命ひや中を万子休の体
病にきし事しんきくおひと
くまにきし物中りい奈の
と父の病にきし事しんきくおひと
の病にきし事しんきくおひと
が病にきし事しんきくおひと
卒にきし事しんきくおひと
父と世とくひらきし事しんきくおひと

只一も又只ひくすしとや
の舟之船も角もおとす
んと竹を押しし
つけし
合らし
しは
驚
そ

ス
行
み
の
か
東
登
か

もじり〜毎ひとを〜
有〜とぬ〜
人の〜
て〜
ま〜
ま〜
世〜
是〜

吾〜
悴〜
親〜
く〜
母〜
の〜

滅心行すいふもや神結うん
撰く身ふまふいひまう今日答う
う身らうも父の申ひを治るる
しふふの代を不うをふふけい
ま〜い〜と〜身〜作〜居〜が〜方〜
世外〜ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜ふ〜
何れ也神佛の爲後月〜
うの教匠者〜

臨一五下〜
とら〜
尾定

はねあひなしたる



あらん
あまの



鳥羽危渡節美記巻五終

